平成28年度富士見市下水道事業会計予算(概要)

1 予算概要

(1) 予算編成概要

下水道の取り巻く状況は、人口増加の鈍化や高齢化社会、生活様式の多様化やエコ指向の向上から節水型機器類が普及するなど、下水道収益が伸び悩んでいる。

公共下水道汚水については、水子地区を最終年とし、南畑地区は、昨年に引続き計画的に整備促進を図る。

また、公共下水道雨水については、別所雨水ポンプ施設、尺地堀水路及び別所堀水路の主要雨水幹線について計画的に更新、整備を図る。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに、維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

(2) 予算規模

第3条予算(収益的収入及び支出)の収入は、前年度比0.69%増の18億3,782万1千円、支出は、前年度比1.28%減の15億7,945万2千円で、収支差引で2億5,836万9千円の黒字となっている。

第4条予算(資本的収入及び支出)の収入は、前年度比0.42%減の15億7,762万7千円、支出は、前年度比3.16%増の23億3,630万円となり、収支差引では7億5,867万3千円の赤字が見込まれる。

(3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

2 予算(収入)の主な特徴

(1) 3条予算(収益的収入)

○ 営業収益

下水道使用料は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、エコ指向の向上から節水型機器類が普及するなどにより、一般世帯からの収益は伸び悩んでいるが、ららぽーと富士見の収益を加算することにより、前年度比0.28%増の9億8,041万1千円となる。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比10.52%減の2億8,879万3千円とした。

○ 営業外収益

他会計負担金は、4、317万8千円とした。 他会計補助金は、2億5,000万円とした。 長期前受金戻入は、2億3,130万4千円とした。 雑収益は177万6千円とした。 消費税及び地方消費税還付金は、見込額として4,207万1千円とした。

(2) 4条予算(資本的収入)

企業債は、前年度比27.68%増の11億7,570万円とした。 国庫(県)補助金は、前年度比43.06%減の2億2.570万円とした。 負担金は、受益者負担金と一般会計からの繰入金等として、前年度比34%減の1億 7,622万7千円とした。

3 予算(支出)の主な特徴

(1)3条予算(収益的支出)

- 営業費用
 - ①管渠費は、管渠の維持管理に要する経費で、主に委託料、修繕費、工事請負費、負 担金等で前年度比1.72%増の5億2.930万6千円とした。

【主な支出】

· 荒川右岸流域下水道維持管理負担金

4億622万円

・維持管理・監視業務・保守点検等業務委託 4,214万1千円

• 人孔蓋取替工事等

3,375万8千円

②業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比1.02%減の4,850万 6千円とした。

【主な支出】

- · 下水道使用料徴収事務委託 3,857万2千円
- ③総係費は、前年度比11.09%減の2,778万3千円とした。

【主な支出】

- 貸倒引当金繰入額
- 412万8千円とした。
- ④減価償却費は、構築物の減価償却として、7億3,350万6千円とした。
- 営業外費用
 - ①支払利息は、前年度比10.36%減の2億3,853万1千円とした。
- 特別損失
 - ①特別損失は、過年度損益修正損として、54万円とした。

(2) 4条予算(資本的支出)

○ 建設改良費

①公共下水道建設事業費は、前年度比16.54%増の9億5,378万9千円とし た。

【主な支出】

- ・江川第2処理分区(西口)
- · 江川第4汚水管渠築造工事
- ·柳瀬第9汚水管渠築造工事
- ·柳瀬第10-1汚水管渠築造工事
- 私道対策事業
- · 舗装本復旧工事
- ・新河岸川第一ノ一号(尺地掘)雨水幹線築造工事
- 別所雨水幹線築造工事
- ・別所雨水ポンプ場施設工事委託

1億4,600万円

7億5,205万円

(平成 27~28 年度継続費•平成 28 年度分)

• 委託料等

5,573万円9千円

②特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比6.09%減の4億1,636万 3千円とした。

【主な支出】

・新河岸第12-2-2 汚水管渠築造工事

·新河岸第14 汚水管渠築造工事

•舗装本復旧工事

3億8,830万

•委託料等

2,806万3千円

③流域下水道事業費は、前年度比13.26%減の7,692万3千円とした。

【主な支出】

· 荒川右岸流域下水道事業建設負担金 7,692万3千円

○償還金

①企業債償還金は、前年度比1.98%減の8億346万7千円とした。

· 公共下水道債元金償還金

5億4,923万9千円

· 流域下水道債元金償還金

9,994万5千円

·特定環境保全公共下水道債元金償還金 1億3,286万1千円

• 資本費平準化債元金償還金

2,142万2千円

企業債償還(元金)の状況は、平成28年度末時点において89億9,262万5千円 の未償還残高となる見込。

■平成28年度下水道事業会計予算(3条 税込)

収	入										(単位:千円)
	Į.	款	項			目			予 定	額	対前年度増減額
下	水道	道 事	業	収	益				1, 83	7, 821	12, 505
	営	業	収	ζ	益				1, 26	9, 329	△ 31, 223
						下水道使	見 用 制	料	98	0, 411	2, 745
						他会計貨	担组	金	28	8, 793	△ 33,968
						その他の営	業収	益		125	0
	営	業	外	収	益				56	8, 491	43, 728
						受 取	利。	息		162	100
						他会計貨	担组	金	4	3, 178	43, 178
						他会計補	前 助 🤞	金	25	0,000	△ 30,000
						長期前受	金戻	入	23	1, 304	6, 299
						雑 収	1	益		1,776	0
						消費税及 消費税。		方金	4	2, 071	24, 151
	特	別	利		益					1	0
						過年度損益	修正	益		1	0

支 出			(単位:千円)
款項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業費用		1, 579, 452	△ 20, 451
営 業 費 用		1, 339, 381	6, 894
	管 渠 費	529, 306	8, 930
	業 務 費	48, 506	△ 499
	総 係 費	27, 783	△ 3,466
	水洗化促進費	280	2
	減価償却費	733, 506	1, 927
営 業 外 費 用		239, 031	△ 27, 561
	支 払 利 息	238, 531	△ 27, 561
	雑 支 出	500	0
特 別 損 失		540	216
	過年度損益修正損	540	216
予 備 費		500	0
	予 備 費	500	0

■平成28年度下水道事業会計予算(4条 税込)

収入 (単位:千円)

1/										
	款	. J	頁			目		予	定額	対前年度増減額
資	本	的	収	入					1, 577, 62	
	企 業 億			債	:				1, 175, 70	0 254, 9
					企	業	債		1, 175, 70	0 254, 9
	国庫	(県)	補具	力金					225, 700	0 \(\triangle 170, 70
					国庫	〔(県)	補助金		225, 700	0 \(\triangle 170, 70
	負	担		金					176, 22	$7 \qquad \triangle 90, 7$
					負	担	金		176, 22	$7 \qquad \triangle 90, 7$

<u>支</u> 出 (単位:千円)

	款項		項		目				予 定 額			対前年度増減額
資	本	的	支	出						2, 3	336, 300	71, 589
	建	設 改	良	費						1, 5	531, 833	87, 847
					建設	総	係	費			84, 758	△ 8,732
					公 建 設	下事	水 業	道費		ç	53, 789	135, 334
					特 定 環下 水 道					4	16, 363	△ 27,000
					流域下	水道	事 業	費			76, 923	△ 11,755
	償	還		金						8	303, 467	△ 16, 258
					企 業	債 償	還	金		8	303, 467	△ 16, 258
	予	備		費							1,000	0
					予	備		費			1,000	0